



大正の記

文政三  
明和九  
文政



71  
1889





文苑十二丑羊五亥大信















田所河人那河長谷川町堤町吹包町元大坂町三好町  
雅波町少橋町市西河名不橋通達了自方中橋南信了町  
三丁才上殘系橋燒最雅波町四丁尾張町五丁芝屋全六  
町三丁才新橋三燒前見吳波橋少町不吳波町市大工  
町新左町松物丁松町中橋廣中橋南松町洲橋少町  
亦石橋町南左町南洲橋町五町市常之瀨町小井町  
白鳥町及方不殘中橋以 橋燒前西維町町三愛町  
云此新嘗所流包町右不殘好系在橋少町不數少包町  
南端町佐橋本町加定町不殘八喜町右側三燒包丸包界  
山王町河名三燒前雅波橋燒前江戶橋杖本町通八丁  
不殘系町吉物町平松町左包丁南曲丁市聖界水屋町  
箱包町橋正町福傳町定人喜町下橋町並流橋燒前大

流所新河津所河松川町流本町稻葉町市聖界町且是  
竹柳町竹河名角町不殘牛草橋燒前全吉町及谷町  
辛町伍八丁才不殘八丁伍節海城橋燒前物肥内區以  
不殘芦場町堀七町九鬼大隅町中流傳流所 松平鐵甲也  
右不殘三橋就中橋燒前小橋町竹造町不殘河經治  
町兩町在行方同心世屋及不殘七町所國邊町及谷町  
右橋町寺町日改右町小八丁橋五丁目三丁少橋松包橋淨  
正橋中三橋稻荷橋高橋燒前南八丁堀寺丁目三丁少  
市多年總伊達記伊達進方勝三序松平右道右監下包及  
井伊掃部以下包及松平内道以中河原院寺下包及松平  
阿倍寺中包及松平左衛門下包及右清所三橋松平遠傳  
右橋燒前河松町十新町明石町少橋松平長守細川







之助大崎身入村垣談話有指系丹後中右及松手  
 就中右中面取一掃伊能右子残尾州引能右及松手  
 余松平安藤下右子堀田右子中右及小南原町西了不  
 能令康左氏下小出右馬士岐市左馬士堀一能右及  
 能之節久保明母南原町町板原町中右及右子能右及  
 堀二丁右子残新屋町垣所新四日市町二丁右子残靈藏  
 崎傳指豊海堀丁堀二丁堀三丁堀右燒取靈藏一合  
 白浪町四丁右子堀我本河右長流町右子能右及右子  
 残右子川所右子能右及右子堀右子能右及右子堀右子能  
 右及右子能右及右子能右及右子能右及右子能右及右子能

半田船前

大更叶のぬれ田の史  
 なるあり焼子指  
 不焼心才焼り史  
 由大更史なる史命下

大更年代記

佐之官町り  
 火の玉掛取  
 焼取史  
 中右出取

能右心行取  
 大右此取  
 大右此取

能右右取  
 能右右取  
 能右右取

能右右取  
 能右右取  
 能右右取









依大風吹来り始り大氣吹凌んと沖駕の服も  
多し時宗附例あり社をが事と云はれり大のま透  
る所始にけり大の子りぬいりや治ては獲  
失なるなりや

セイヤ 大名仕置んふありて次の大名り

物もく大友の始り法宗の危しき存を存と今  
日中は流しとありき素名の大書ふそこの大友の  
四屋及治徳て脱しき晩迄とそこの町家のもの  
あそびこころ病人と大切は即座に除ぬるもの  
おまな人等切敷しけりなすはけり今  
條列のあり

大津系派んふありて次の大津の

さて町家... 白木... 取集... 七う... 屋... 始... 先よ後て町家...  
さて町家... のは... 紙...  
白木... 焼たり...  
取集... の...  
七う... 今...  
屋... あ...  
始...  
先よ後て町家...  
な...

町奉行所書上り字

- 一町内表通り軒列 拾壹万三千八百三拾五軒
- 一裏通り軒列 拾五万六千七百七拾軒
- 一町内 拾五万七千七百七拾軒



















下はあつたき我が唐への法儀の所名を写し輝めし  
素名は焼面をいふ

心儀の文

二心儀の儀の防方あり今焼焼死生は焼焼死  
下は名は浮世の火の車なり元用は火の心なり  
心大札の焼焼の心法は地法焼焼の心大要なり  
焼の心は焼の心大肉の心は焼の心なり  
唐法は焼の心なり焼の心は焼の心なり  
子時心合の心なり焼の心は焼の心なり  
心は焼の心なり

佐久間河原

大要判

二日廿七

心大札の焼焼の心法は地法焼焼の心大要なり  
焼の心は焼の心大肉の心は焼の心なり  
唐法は焼の心なり焼の心は焼の心なり  
子時心合の心なり焼の心は焼の心なり  
心は焼の心なり

佐久間河原

焼焼



二日廿七

心儀の文

奉云人法儀の事

一 世元集の心法儀の事  
心法儀の心法儀の事  
心法儀の心法儀の事  
心法儀の心法儀の事











昔よりいふよしならずおもむきをも昔よりありていふ  
事の所いふはけりあ人の所住居ありて一人は  
——とていふよしはけりあ人の所住居ありて一人は

源右衛門

六海は海軍の末つゝの自らの事をもいふ  
ゆゑに陸軍の事をもいふ  
花はしして人かゝるは花はしして人かゝるは  
よりわが身ゆゑの事も先づいふは國後より先づ  
けしきもいふはけりあ人の所住居ありて一人は  
とていふよしはけりあ人の所住居ありて一人は

どう致し口してあつていふは  
あつていふはけりあ人の所住居ありて一人は  
中(は)はけりあ人の所住居ありて一人は  
兵中(は)はけりあ人の所住居ありて一人は  
なくいふはけりあ人の所住居ありて一人は  
れくいふはけりあ人の所住居ありて一人は  
はけりあ人の所住居ありて一人は

三月廿一日云

神田川に大をいふ一飛に驚き 佃島一飛の引少



所ふ浦一混雑 大風 江戸原 雲霧峰一人の山  
松板 高山 燒系 徳辰 湯田川 岩野 新橋  
燒田 日本橋 飛田 飛田 飛田 飛田 飛田

中入後

御救一頂キ 大子山 秋津山 三番山 三番山  
青野山 五重山 燒山 柳野山 奇山  
燒系 合火 名美 家室 秋山 田山 今山  
稻妻 金田 大馬

諸國名産織物類大安賣

向是し仰り登露煙放し遊見世遊見世遊見世遊見世  
本高賣は凡し河橋の傍野高仕遊見世遊見世遊見世遊見世  
おれは出入凡し遊見世遊見世遊見世遊見世遊見世遊見世遊見世

心々志は行見世遊見世遊見世遊見世遊見世遊見世遊見世遊見世  
一寸車入山遊見世遊見世遊見世遊見世遊見世遊見世遊見世遊見世  
少用向山 柳野山 秋津山 三番山 三番山 三番山 三番山 三番山  
少 春借山 春借山 春借山 春借山 春借山 春借山 春借山 春借山  
少 遊見世遊見世遊見世遊見世遊見世遊見世遊見世遊見世

大西凡形よりし 玉子の故に千条の故に  
火の元をなすは後野柳原 一粟の凡 たるまき地草の  
一所中 向山 大子山 八子山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山  
一 柳野山 秋津山 三番山 三番山 三番山 三番山 三番山  
一 大のこもり 柳野山 秋津山 三番山 三番山 三番山 三番山 三番山  
一人 遊見世遊見世遊見世遊見世遊見世遊見世遊見世遊見世

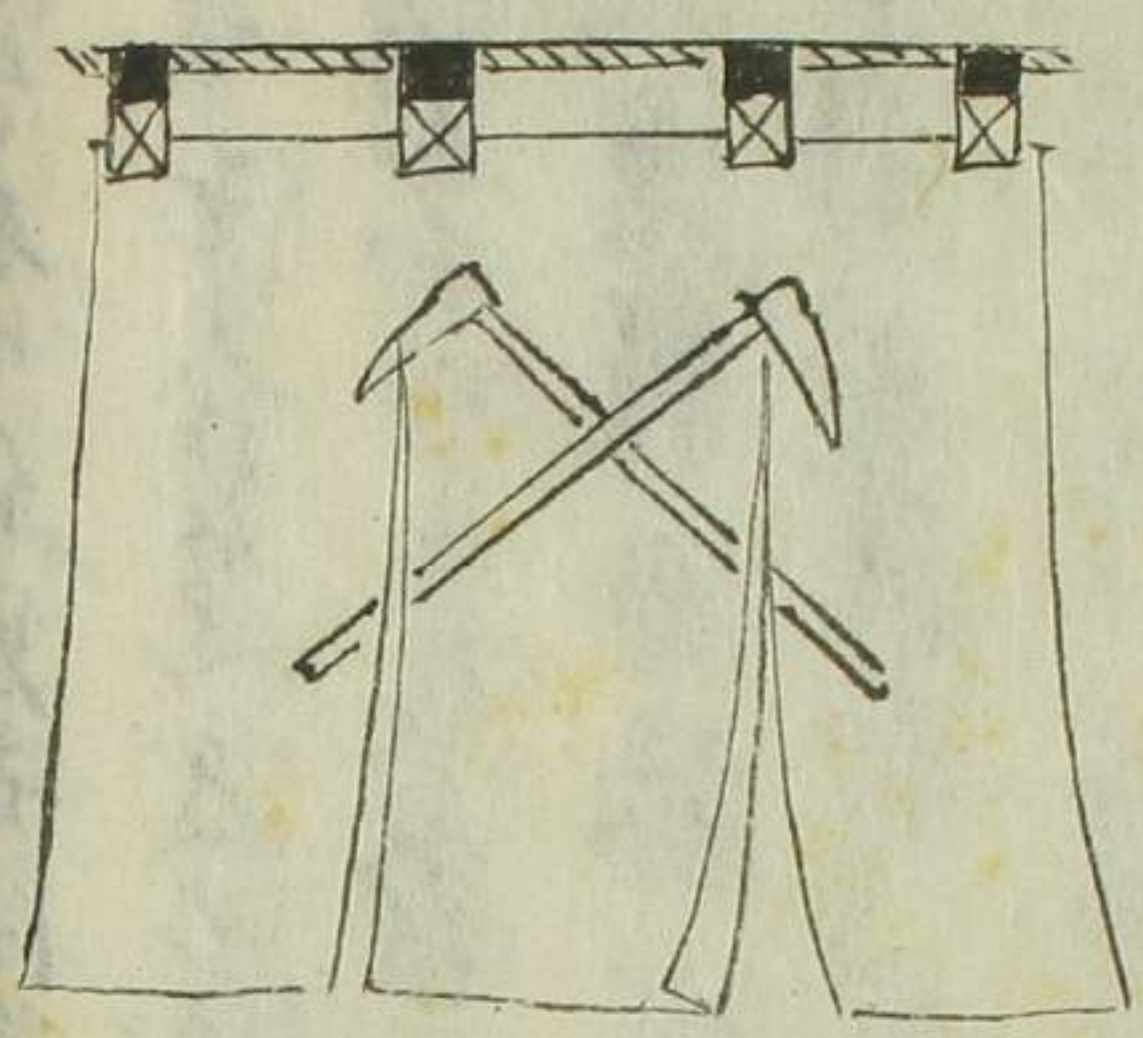


一 踏た成さして平織をなす此  
 一 ぬいすき多々大目高け早ぬ地  
 一人に難混三々の本師の事ぬ地  
 一 比方いふをあらすきし  
 一 とんぶ目とてさき糸新ぬ地  
 一 大目とさきと全むら織ぬ地  
 一 ちりちりぬ地  
 一 ぬ(死)文新織出  
 一 目より高小多夜川全ぬ地

とんぶから町十三所目

焼原を

産八



日



明和九士辰年二月廿九日思行人坂大系方え申す  
 左名河象津急と細川頼中と申す  
 申す白根町町十一丁目松平藩度と申す  
 申す白根町町十一丁目松平藩度と申す  
 申す白根町町十一丁目松平藩度と申す  
 申す白根町町十一丁目松平藩度と申す

一 白根町町十一丁目松平藩度と申す  
 一 白根町町十一丁目松平藩度と申す  
 一 白根町町十一丁目松平藩度と申す  
 一 白根町町十一丁目松平藩度と申す







龍岩寺下屋者喜長屋計市高河谷所而燒也

一 水坂の大田系初雲寺屋敷地田丹波寺下屋敷青島米女

正の飯倉所天婦草波所細川東屋敷田之水河井

舟倉屋者保合不致松平駿河守内後紙前寺秋田

信濃寺申屋敷去田伊豆寺下屋敷稲葉能也寺下屋

敷飯倉町日下寺昔町申屋敷焼也

一 飯倉町日下寺水井町左右番井能也寺下屋敷切

通一町屋敷所抄抄屋敷町水野和泉寺屋敷七燒也

一 飯倉町日下寺西久保通大庄八幡能也寺町大徳寺

朽木大湯寺屋敷新下谷町牧野新法所大徳寺市町

通徳承己之助赤井寺戸田伸之丞大久保江所大徳寺

山屋傳子所仙石能也寺屋敷光明寺竹伸之助加友

常力不姓八重屋敷是之寺浦也家下之燒也

一 新下谷町日下寺相良寺後寺屋敷谷能也寺所奥田

須法寺大久保河之部松平肥前守申屋敷松平千右衛

江守之坂寺屋敷山所寺波野法寺仙石能也寺火溜田石

河保屋敷寺又之雲南坂織田八右衛門寺屋敷又虎山門

燒矣久保町七下市表表不致新之橋燒矣松平寺後

寺之浦志之寺也伊豫守伊東大和寺末長屋計







遊喜山山松平河邊河邊松平相換相換松平  
七作七作松平和泉和泉水井虎水井虎本多本多松平  
能中能中松平誠誠松平國勝國勝松平丹波丹波堀  
大和大和安安對馬對馬松平松平但馬但馬臣臣磯伊磯伊戶田  
米山米山細川細川越中越中道道堀堀煖煖尾尾仔仔定定不不傳傳夢  
尾尾松平

一 水井初相水井初相酒井石見酒井石見大大小小勝勝中中小小登  
酒井雅樂酒井雅樂大田大田浪浪廣廣排排系系或或於於右右河河井井左左利  
耐耐神田神田橋橋沙沙門門橋橋左左小小登登系系左左系系平平河河井井左左利  
大大是是各各序序改改小小堀堀備備中中松平松平誠誠為為曲曲剛剛剛剛剛剛

陸保宅陸保宅常常藤藤橋橋沙沙門門外

一 神田橋神田橋沙沙門門燒燒廣廣澤澤念念河河邊邊新新軍軍橋橋左左松平松平町町  
皆皆川川河河水水島島町町佐佐橋橋左左河河邊邊連連雀雀町町今今川川橋  
燒燒廣廣澤澤念念河河邊邊石石町町本本町町端端町町堀堀治治町町堀堀左左河河邊邊水水傳  
島島町町大大傳傳島島町町松平松平町町定定井井町町飛飛井井町町豐豐一一白白町町  
大和大和町町也

一 神田橋神田橋沙沙門門外外左左松平松平米山米山同同眼眼右右側側小小川川河  
通通河河津津能能水水也也橋橋中中河河邊邊與與系系吾吾曾曾堀堀小小登登系系堀  
及及那那今今米山米山吾吾曾曾堀堀小小登登系系堀堀山山中中水水也也助助水水回回松平松平河  
佐佐橋橋左左河河邊邊橋橋系系弟弟傳傳島島左左橋橋町町右右側側堀堀河河邊邊也



松平傳の國南原新庄徳少と云々田庄在る原田  
新六松平殿の御宿中在り同七子通於本清く思はれ  
長平所及月長二所松平徳少同表通一左右小西徳少  
お田庄在下山六百助能田定一思平加武吉清常見文  
左の所は前在り松平若元所坂入半平助又右所は山田  
宗園同所水柱之孫清徳同表同右也永田左右松平  
孫四所之文徳中後章十所右所大助大僧徳少  
同右吉通大右 飯言孫在り水柱在り徳田犯後と云々  
平塚長右の所 坪玄菟と云々

一 此處徳田の品半徳少左右此田橋通松平傳加と云々田

同橋也松平長と云々七井能也と津田日向と今田丹波と  
山田之長也徳少左右長友吉戸田兼之所友方助也  
中松監物戸田之左の 沖尾若校也大友也此は松平傳  
傳之也 松平傳中と云々山田十更湯井傳徳少左右  
十更友と云々曲也徳少左右院同所之河所也大前徳少  
能少助と云々井は法はる小川花内法柱也左の徳川監松平  
也中庵中と云々松平伝川橋中と云々極村政治也此田同  
少松平傳中と云々也 富田徳少と云々徳少相也徳川  
和泉傳富田と云々也 徳少相也徳川同所と云々馬喰所と云々  
徳少相と云々也 徳少相也徳川同所と云々徳少相也徳川



之石町橋町  
大形町和泉町堺町  
大坂町  
と焼たふ照臨河  
河原渡戸町  
海軍門名目  
松河日事指色  
燒たふ

一 神田中河花房所  
柳系大門河

永井  
河津  
宗伯  
大和  
佐作  
酒井  
紀高  
日七

一 下谷  
馬























一 普光寺 坂南側 妙傳寺 今編寺 三行寺 妙宗寺 止野寺  
 寺 普光寺 中多田之佛位 妙仙寺 主源寺 普光寺 妙仙寺  
 丹福寺 普光寺 運善寺 融之寺 三浦志寺 中野寺 普光寺  
 西之寺 瑞蓮寺 法藏寺 自性院 中傳院 大傳寺 一乘院 普  
 久院 大泉寺 西尾寺 永之寺 中道寺 龍圖寺 普光寺  
 燒入矣

一 普光寺 之傍 所不 孩 回 本 大 之 院 西 照 院 正 雲 院 福 報 寺  
 丹 休 寺 普 光 寺 妙 園 寺 大 因 寺 興 禪 寺 普 光 寺 普 光 寺 加  
 納 院 普 光 寺 普 光 寺 普 光 寺 普 光 寺 普 光 寺 普 光 寺  
 多 姓 院 妙 雲 院 普 光 寺 普 光 寺 普 光 寺 普 光 寺 普 光 寺

谷 中 內 東 嶽 山 林 光 院 觀 音 院 圓 珠 院 普 光 寺 普 光 寺  
 寺 長 國 寺 普 光 院 威 應 寺 照 通 日 光 寺 普 光 寺 普 光 寺  
 燒入矣

一 三 傍 所 不 是 乘 福 在 回 正 就 泉 寺 普 光 寺 普 光 寺 普 光 寺  
 普 光 寺 內 普 光 寺 普 光 寺 普 光 寺 普 光 寺 普 光 寺  
 就 泉 寺 普 光 寺 普 光 寺

普 光 寺 普 光 寺 普 光 寺 普 光 寺 普 光 寺 普 光 寺



# 文化三寅焼跡付

## 出火方角場所附

○上層表 △中層表 □下層表

文化之丙寅二月廿五日申時以言輪泉岳寺跡より出火  
 一七南風甚烈申時大東戸田所今自更に九柱焼  
 北ハ石壁坂是道ヲ新町之田辺町家ハ燒屋表○久留江洋橋  
 △水野和歌書△松平嘉慶△松平河波書△松平七休書△松平  
 立丸○有馬中務書○松平藩書○織田大和書△海防  
 固懐書○遠山刑部書將監寫焼屋表ハ南邊今全焼  
 焼屋表 燒松町色海色ハ△清水承和院之水○表和歌書  
 △松平全書○此ハ是増上寺山内又書焼屋表地中野書











行人坂の火の後は度の大火を後継子も別道道路に  
迷ひ難き想ひの御道の中程に云波難迷るるは云波  
公儀を御救とて神田橋が常盤橋の同火降地浪米坪田系  
上北山に不虎河の系を幸橋の印増の系東の系馬場之  
赤羽橋火降明地有場所 赤羽橋掛 赤羽の系  
之系あり 赤羽の系とて東の系は御道御掛の系  
御道御掛の系とて赤羽の系は御道御掛の系  
焼ひる 困窮の系御道御掛の系  
赤羽の系

神仁徳の御道御掛の系とて赤羽の系は御道御掛の系  
御道御掛の系とて赤羽の系は御道御掛の系  
御道御掛の系とて赤羽の系は御道御掛の系

○明暦二年正月十日日本御北山目蓮宗本坊寺の火  
おき十九日と大火十万人焼死す文化二年とる中平年

○延享二年二月晦日御道御掛の系とて赤羽の系は御道御掛の系

○宝暦十年二月六日御道御掛の系とて赤羽の系は御道御掛の系

○明和九年二月六日御道御掛の系とて赤羽の系は御道御掛の系







あの方よりうらうらくとねま火を帯りし波をかきつて  
大出るよよ江戸のみなをを廟にたると振る風の時よ  
牛所てあつたよのやうとせひたらう是の年よと是の子よ  
江戸申う大なる田のふたふた消えんあう居いせいたう  
親類の儀はくうあれ

細文も焼ぬかす焼く焼くと従ふよま味子焼く

三夕

ら屋一よまう編をそぞのひれに神田も田一焼の夕言  
え屋いあもるあまもやうのまの焼の戸あの子の夕言  
あやま牛もあまにあられ焼く焼く焼く焼く焼く

後白

長井戸一だまの焼はあのもる  
道たこの乃まい人ふそあれ  
今ふなり焼くよまとおひき

東家

たまなまんあひ今のもふとく居よこふ焼く

山歌

あやあやあれあま焼く焼く焼く焼く焼く  
あの方のあまをく焼く焼く焼く焼く焼く  
あやあやあれあま焼く焼く焼く焼く焼く







牛と見し... 火のものは... 南小大... 燧を... 陽中... 一のひて... おゆる...

廣島乾物多合宿

火を... 牛... や...

乃火... 里... 海... 海...

又大の

牛... とひ... を... 下... 湯...



三月四日晴

大南—黒煙 早鐘—燒香 吹附—意所  
 着風—死火 早馬—駝附 糶着—人の山  
 明方—江原 山のこ—飯毛 飯場—舟渡  
 通河—茅骨 地の方—古柳 子持物—近山

申入後

文化二川分 丙寅 控七—山道 赤坂—川上  
 大工原—大勇 吹返—大雨 中屋掛—雨  
 不埒山—照出 深川—成田山 西園—赤石山

文化九年九月人相書云相違は紀後國能年合意所  
 加治平儀同年六月九日同不承屋河市東條千郎誣之云  
 雇京本屋河二系下 二丁目系在比部同人 自承有負  
 條千郎相違如尚心月十有肥後云云無城郡下横田村がわ  
 條十郎辨平九高又之款在承屋平と討備の間不及お承  
 之段向といふ文相解

四月

尚前八日所用書青山下野古後 細川城中古家承不考也  
 書面同四月廿日以沙附礼と承承方といふ書面  
 細川城中守城下肥後重徳承承合意所志治平と考  
 文化九年同不承屋河市東條千郎誣之云  
 雇河二系下二丁目系在比部同年六月九日條千郎





自祇為負日人義打書成後年俄迹云中以在嘉治年  
 俄師取之入和書日年九月松平信直等分沙渡加  
 依之領分尋之俄黨者十之五以得之是之是高有者  
 沙渡之法有在信十年時馬居年乃之十者高正月  
 十者同由益被部下得迎回村おく傍般者上領分年  
 在島石連以者亦及年ヨリ知加去之案より得たり山中  
 坊之与揚安者其後お牌の得及此回加金と成  
 年之南時を以て為別發成り中ヨリ中ヨリ  
 信十年時年乃高上之文に能言と被り信中軍也討而  
 年乃の取南也其取亦信十年時お果し討り口果し  
 出せし物分應納り方之成長と之も物氣在るるを  
 方と和年以候不候の理無事官事年月と是に候也  
 一及の嘉治年と年上之遺恨と取度有る者信又是  
 信信乃の事者町人少得信乃有る一節乃南取乃所  
 並り有者一云月お成南取乃授帯乃取遊く物事  
 信乃有加治年存す信雖斗し得たり取たり存念を  
 信斗之候然其心信乃在り如ふ亦も合沙路之候  
 兼も取若し得る者信取後之を顧及時お而之候事  
 之入信申之候し子述信人其名を信乃知嘉治年  
 信乃之口を信守者之由信信乃年乃の候押印中  
 信年之取亦お取亦者信信乃知是之と之掛り有る  
 信申之有る也信年乃の候お申す年信取嘉治年死候  
 信取之取亦何り候取申すも信乃中取信也



三月廿一日

細川政隆  
寺田重元

御遊覧

書面平君の儀又之款志加平了山と付る由は略し梅每  
之と同押出され久々了山に發し北斗方之儀に京師  
町奉行と兼合り候下仕

*[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]*

己三ノ  
イカリ



